



四つ葉のクローバー新聞



～心をひとつに～ 2017年1月号（第58号）

「四つ葉のクローバー新聞～心をひとつに！～」をお届けします。

この新聞では、山元町や地域包括支援センターをはじめ、山元町社会福祉協議会「やまもと復興応援センター」の復興応援活動、そのほか様々な情報をお伝えしています。

心をひとつに！『やまもと復興応援センター』

資機材紹介

本年もよろしく

お願いいたします。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。どうぞ、今年もやまもと復興応援センターをよろしく
お願いいたします。



コミュニケーション麻雀

初心者でも楽しめるコミュニティ麻雀は一個の牌が、たわし大の大きさで楽しい麻雀です！これから寒くなるので外出が面倒になりますが、温かい集会所でやれば皆で楽しく過ごすことができます！仮設集会所だけでなく、公営住宅や地区集会所など皆で集まって、心も体も暖かく冬を過ごしましょう！ご要望があれば初回のみルール説明に職員を派遣します。ぜひ、ご活用ください！

お問合せ
やまもと復興応援センター
0223-35-6223



防災のことを考えてみよう。

11月22日早朝、震度5弱、マグニチュード7.4、福島県沖を震源とする地震があり、その後も余震が断続的に起きました。津波警報と避難指示が出され、中央公民館や山下中学校などの避難所に続々と避難者が集まりました。

センターでは公営住宅や仮設住宅の安否確認を行いました。予想される津波の高さが低かったからなのか、避難指示が出されても逃げない方が大勢見受けられました。

「防潮堤が出来たから、かさ上げされてできた市街地だから津波は来ないだろう。」そう感じていた方が大勢いたからなのではないでしょうか

あれから一か月半ほど経ちましたが、その時に感じた危機感
感
は思い出せる方が多いはず。是非、公営住宅などに移転した際は積極的に防災について考えてみて下さい。そして、自治会活動などに参加してみてもいいでしょうか。



心温まるシクラメンが届きました

12月16日、宮崎県の高校生がシクラメンを各仮設住宅の皆さんに贈呈しました。当日は極寒の天候にもかかわらず、高校生たちが大事に育てたシクラメンを元気よく渡していました。



町営桜塚住宅に名称変更しました!!!

現在、順次入居が始まっている、「町営宮城病院周辺地区住宅」の名称が12月議会で『町営桜塚住宅』に変更されました。これにより、「町営桜塚住宅」が正式名称となり、住所は「山元町高瀬字合戦原100番地10 町営桜塚住宅〇〇〇（←部屋番号）」になります。

なお、今後は2月、3月に鍵の引き渡しとなり、順次、入居説明会と現地見学会を実施する予定です。詳細は、別途お知らせします。



完成に向け、工事が進む「町営桜塚住宅」

お問合せ 被災者支援室 29-8003

四つ葉のクローバー新聞 2017年1月号（通巻第58号）2017年1月1日発行
発行：山元町 編集：やまもと復興応援センター

☆山元町被災者支援室 電話 0223-29-8003 [tp://www.town.yamamoto.miyagi.jp/](http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/)
☆やまもと復興応援センター（山元町社会福祉協議会） 電話 & FAX 0223-35-6223